

「令和4年度 議会報告・意見交換会」の振り返り・総括まとめ

1 ブロック内2会場としたことについて

- (視点) ○7日間の日程の中で14会場に分散して実施したことについて
○会場準備、運営の人員配置について

- ①特に問題はなかった : 清水(優)、下平、橋爪、市瀬、清水(勇)、永井
②問題があった : 竹村

◇課題・改善点

【竹村委員長】

- ・正副委員長を筆頭に分散したが、全体の統制が本当に取れていたのか、正副委員長間で日々変化する状況の擦り合わせができていたか疑問が残った。
- ・分散したことにより、特定地区の個別事情の把握になってしまったと感じた。
- ・議会報告・意見交換会は、ある程度の地区がまとまり、他地区の状況を聞くことができる7ブロック開催が最適であると感じる。
- ・これ以上の細かい単位であれば、タウンミーティングで補えば良いと考える。
- ・7ブロックかつ分散としたことで、議会事務局の対応が大変であったと感じた。
- ・議会報告・意見交換会は議員が主体であることから、議会事務局の負担をいかに軽減すべきかを真剣に考えたほうが良い。

【下平議員】

- ・議員としては特に問題とは感じなかったが、事務局は一日6分科会は大変では

【市瀬議員】

- ・集合時間が早めだったので、会場準備など時間にゆとりがあり特に問題はなかったと思う。

【清水(勇)議員】

- ・マイク設備の確認が必要な時はあった

【永井議員】

- ・一人一人の議員が主体的に臨めて良かったと思う。
- ・必要に応じてこのような形で望む年があっても良い

2 開催期間中の打合せについて

- (視点) ○令和4年度は初日(9/28)と翌日(9/29)、週明け初日(10/4)と2日後(10/6)に全体会及び分科会の打合せの機会を設けたが、開催日等は適当であったか。

- ① 適当である : 清水(優)、下平、市瀬、清水(勇)
② 見直した方が良い : 竹村、橋爪、永井

◇課題・改善点

【竹村委員長】

- ・課題の有無にかかわらず毎日意思疎通をしたほうが、各地区の反応を機微に感じることができたのではないかと考える。

【橋爪議員】

- ・集合時間が早いため午後7時までにはかなり時間が余った。

【市瀬議員】

- ・来年度以降も同じような形での開催になるようであれば、集合でなくてもオンラインでの開催でいいと思う。

【永井議員】

- ・全体での打合わせは、さすがにこんなにはいらないと思う。

3 分科会の構成について

(視点) 委員会報告、意見交換会、まとめ及び総括の時間配分は適当であったか。

- ① 適当である : 清水(優)、下平、橋爪、市瀬、清水(勇)、永井
- ② 見直した方がよい : 竹村、

◇課題・改善点

【竹村委員長】

- ・コロナ禍であるとはいえ意見交換の時間が60分では、本質の部分にたどり着く前に終わってしまう。
- ・分科会のみとはいえ通常開催時間を確保しなければ、所管事務調査テーマの深掘りにつながらない。

【市瀬議員】

- ・前提にコロナ禍ということもあるので適当といしました。

4 委員会報告、意見交換会の内容(運営)について

(視点) ○参加者が参加して良かったと思ってもらえる内容(運営)であったか。

○委員会報告や所管事務調査の説明を参加者が理解していたか。伝えることができたか。

○参加者からの意見を十分聴くことができたか。

- ① よくできた : 橋爪
- ② どちらかと言えばできた : 竹村、清水(優)、下平、市瀬、清水(勇)、永井
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかと言えばできなかった
- ⑤ まったくできなかった

◇課題・改善点

【竹村委員長】

- ・意見交換の時間が60分しかない中で、テーマの設定の説明をしっかりと行わなければ、意見を出していただくにしても、参加いただいた方が「何を言っているのかわからない」ということを感じた。
- ・説明者の力量にゆだねられるところが多分にあるが、意見交換したい内容の趣旨をしっかりと理解していただかないと、本質を無視した空中戦の議論にしかならないと感じた。

【清水副委員長】

- ・「時間が短かった。」というありがたい意見をもらった。わざわざ時間をつくってお集りいただく機会なので、意見交換の時間を最も大事にしたい。

【下平議員】

- ・テーマが所管事務調査の内容なので、興味を持って出席している参加者がどれだけいるかわからない。意見を聞くことは出来たのでは。

【橋爪議員】

- ・清水副委員長の進行のテンポが良く、清水勇議員のサポート発言もあり良い意見交換会であったと思います。

【清水(勇)議員】

- ・参加者は意見交換ができ参加して良かったとの内容であった
- ・委員会報告等については時間の関係でよく伝えられたとは思わない
- ・少人数で中身の濃い意見交換だったと言われた、しかし時間が短かったとも言われた

【永井議員】

- ・14 会場で開催したので、いつもより参加者が少なかった分、市民の意見は聞けたと感じた。
- ・委員会報告を理解してもらうには、説明内容や仕方に工夫がいる。
- ・所管事務調査を進めるためには、1年に1回は行う必要があると感じた。

5 常任委員会としての総括・次年度に向けて改善点等（自由記述）

○常任委員会の準備段階からの全体スケジュール、運営にあたっての準備品などなんでも
